

# 琉球病院 Monthly



独立行政法人  
国立病院機構 琉球病院  
National Hospital Organization RYUKYU Hospital



Vol.73  
2019. January

発行者 琉球病院事務部長  
秋好 輝雪

## 基本理念 この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

### 新病棟グランドオープンまでの長い道のり

企画課長 松田 吉憲

当初計画時の完成予定（平成27年8月）から遅れること3年2か月。足掛け5年の大事業となった、「病棟等建替整備工事」が平成30年10月に竣工し、ようやくグランドオープンという運びになりました。それを記念して、平成30年12月15日（土）に記念式典を開催しました。

今回の工事を振り返ると、入札時から苦難の道が始まっていました。

東京オリンピックを見越した、建築資材価格の高騰により、入札が不調となり、着工が遅れるという事態が発生。その後、なんとか建築業者も決まり、第Ⅰ期工事（東病棟）着工、平成27年6月に竣工しました。

第二期工事は、今回完成した、重度心身障がい児（者）病棟（以下重心病棟）及びリハビリテーション棟の着工予定でしたが、重心病棟建築予定地に地下埋設管（雨水用の排水管）の存在が判明し、再び工事が遅れるという事態に陥りました。この埋設管を病院の西側へ迂回させる盛替え工事を行い、平成29年3月に、ようやく第二期工事の着工にこぎつけました。

その後、工事は順調に進み、平成30年6月に重心病棟、平成30年10月にリハビリテーション棟が完成し、5年に及んだ、「病棟等建替整備工事」は無事終了となりました。



完成後の引越は、重心病棟は7月23日～24日に、リハビリテーション棟は10月23日に行い無事終了しました。

重心病棟の患者・家族の皆様は、待ちに待った新しい病棟への引越しが終わり、綺麗な病棟で過ごすことが出来るようになり、喜んでおられるということをお聞きしております。本当にお待たせしました。



また、先日の記念式典では、「建物が新しくなり、これからは、診療内容の充実に取り組みたい」というお話が出ていましたので、今まで以上のより良い医療の提供実現に職員一同で取り組んで行きたいと思っております。

## トピックス

### 行事・出来ごと

- 病棟等建替 進捗状況 本体工事：新病棟（第Ⅰ期工事）完成・・・・平成27年7月
- 整備の動き 雨水配水管盛替工事 完成・・・・平成29年2月
- 新病棟（第Ⅱ期工事） 完成・・・・平成30年10月

### 教育・研修

- CVPPP(包括的暴力防止プログラム)院内外フォローアップ研修
- 日時：平成31年1月17日（木）8:30～17:00
- 場所：北館あしびあな体育館

## ● 地域医療連携室だより

琉球病院では、受診相談や地域、行政、他医療機関からの窓口として地域医療連携室を設置しております。

一般精神をはじめ、アルコール依存症（アディクション全般）、治療抵抗性統合失調症治療薬で効果のあるクロザピンによる治療、認知症、児童思春期外来といった様々な疾患をお受けできる診療体制を整えております。

また、中北部圏域を中心とした地域の皆様によりよい質の医療を提供し、適切な対応ができるよう充実した取り組みを行い、地域のニーズに応えられるよう日々努力していきたく思っております。初診はじめ、受診については予約で行っております。ご相談はお気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。

## 院長

福治康秀（ふくじ やすひで）  
1964年生まれ、那覇市出身、首里高校卒。  
1993年琉球大学医学部卒、琉球大学医学部精神神経科入局。  
95年那覇市立病院精神科、96年琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、2010年副院長を経て2014年琉球病院院長に就任。  
日本病院・地域精神医学会理事。



## 診療科

- 一般精神科
- こども心療科
- 物忘れ外来
- アルコール依存症等外来

## 病床数 416床

- 精神科病棟 151床
- 認知症 56床
- アルコール 54床
- 児童思春期 ユニット 4床
- 重症心身障がい 90床
- 医療観察法 37床



● アクセス  
路線バス／那覇B5(下り)または名護B5(上り)より沖縄バス「17番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分  
自動車／那覇市から40分  
沖縄自動車道金武インターから名護向け5分

## NHO PRESS～国立病院機構通信～について

NHO PRESS 国立病院機構通信  
琉球病院は、国立病院機構（NHO: National Hospital Organization）という143の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。  
国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する「NHO PRESS～国立病院機構通信～」を発行しています。 外来ロビーに設置していますので、ぜひご覧になってください。  
なお、ホームページに最新号と過去のもの掲載していますので、そちらもぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。

NHO PRESS 検索 QRコード

お問い合わせ時間  
8:30～17:15（土・日・祝日以外）  
TEL：098-968-2133（代）  
内線：231・234  
地域医療連携室（直通）  
TEL：098-968-3550  
FAX：098-968-7370

## 治療抵抗性精神疾患への医療



### クロザピンの治療状況

平成22年から治療抵抗性統合失調症の患者様に対してクロザピン(CLZ)治療を開始し、全症例は253例になりました。平成30年11月のCLZ導入は3例で、いずれも他の病院からのご紹介の患者様(入院中1例、通院中2例)でした。CLZ治療前には暴行行為や多飲水などの問題行動のために隔離が必要な患者様も多くいらっしゃいましたが、CLZ継続例では問題行動も少なくなり、隔離は解除できています。週に3回の専門外来も行っていますので、患者様のご紹介をお願いいたします。

### m-ECT (修正型電気けいれん療法) の治療状況

当院では、m-ECT (修正型電気けいれん療法)による治療を行っています。平成30年11月の治療実績はありませんでした。

## こども心療科

こども心療科では、主に自閉スペクトラム症の特性を持った小学生を対象にしたグループを毎月実施しており、今年度は2クール目を迎えています。プログラムの中では、見る力や聞く力、注意集中などの日常生活を円滑に送るために必要となる力の向上を目指した、様々な活動やワークに取り組んでいます。

毎回の課題を通して、その子の意外な得意さや苦手さがみえてくるだけでなく、前回から継続して参加しているお子さんは、昨年とは違った様子を見せてくれたり、お互いを意識している様子が伝わってくるなど、子どもたちの成長・変化を実感させてもらっています。

今後も子どもたちが楽しく取り組めるような活動を提供していきたいと考えています。グループに関するお問い合わせは、子ども心療科までお願いいたします。



## 認知症医療

12月に入り、冷え込みを感じられる季節となりました。そろそろインフルエンザの流行や肺炎など感染症対策が必要な時期でもあります。ワクチン接種も優先されますが、当病棟の患者様は高齢の方々が多く、日頃の体調管理に加え、環境調整や口腔ケアなど入念な看護ケアをスタッフ一同取り組んでいきます。

新年も季節感を取り入れたレクリエーションや家族教室を多職種を交えながら楽しく取り入れて行きたいと思っております。皆様のご協力を直しくお願いします。

## 重症心身障がい医療



12月20日(木)、西I. II病棟のクリスマス会を開催しました。会場のイルミネーションや装飾品、多くのご家族参加により広いホールがあつという間に満員となる等、クリスマス会を華やかに頂きました。また、クイズやダンス、クリスマスプレゼント等の催しものに利用者さんも喜んで頂けたようでした。

行事や外出等は普段の生活にはない特別感があるようで、喜ばれる利用者さんが多くおられます。今後も企画を工夫し新しい事も取り入れる等、利用者さんに喜んで頂ける事を提供させて頂きたいと思っています。

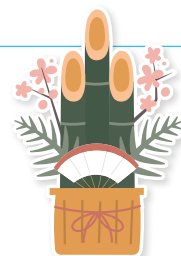
## アルコール・薬物依存医療

平成25年5月27日、アルコール依存症の新しい治療薬「レグテクト」が発売となりました。レグテクトは、アルコール依存症の方の強い「飲酒欲求」を直接和らげてくれる作用があります。当院では30年11月末現在、外来通院の患者様90名、入院中の患者様19名の方が服用されています。内服している方は「飲酒欲求が軽減した」と話され、再飲酒の抑制につながっています。また、当院の外来での調査では、レグテクト内服を継続している患者様の方が、治療継続率が高いという結果も出ております。患者様へは、適宜導入を勧めています。断酒が困難な方は、ぜひ外来を受診し相談して下さい。

## 包括的地域精神医療

平成30年11月の訪問看護利用者件数は、787件のご利用をいただき月平均では36件の訪問看護を展開いたしました。今年も残りわずかとなり、師走をむかえ、新しい年を迎える準備であわただしくなります。沖縄の気候は暖かい日々が続いていますが、朝晩は寒さを感じ季節の変化を感じます。これから冬に向かい風邪やインフルエンザの流行と体調管理にも気をつける時期となります。常に手洗いやうがい、人混みでのマスク着用と予防は大切となります。

訪問看護は、年内12月28日まで活動を行います。新年は平成31年1月4日からの訪問看護の開始となります。年末、年始の過ごし方を訪問看護のスタッフと相談しながら、健康管理に留意し、よいお年をお迎えください。



## 臨床研究部活動状況

あけましておめでとうございます。

昨年は当院のさまざまな領域で行っている臨床研究についてご報告させていただきました。個々のスタッフが日々の臨床で疑問に思うことについて研究的視点をもって取り組んだ研究から、国の施策につながる厚生労働科学研究や他施設との共同研究など幅広い臨床研究に関わってきました。これらの取り組みが医療の質の向上につながるよう、また良質の医療を患者様に届けられるよう今年も取り組んでいきたいと思っております。

今年九州アルコール関連問題学会、病院・地域精神学会が沖縄で開催されます。当院で取り組む研究、情報を届けていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。